



経済学部教授。

高崎経済大学、早稲田大学大学院、青山大学大学院でケインズ経済学を研究。1967年本学助手として採用される。現在、経済原論A、経済変動論および環境経済学を担当。

ボーイスカウトの指導者

加藤 敬弘

自然は偉大な教師で、豊かな体験をさせてくれます。このような自然のなかで子どもたちと遊んでみませんか。自然のなかの子どもも偉大な教師です。多くのこと（夢）を彼らから学ぶことができます。

尊敬されるガキ大将（リーダー）であるためには、自然や子どもに対して謙虚であること（調和）、弾力的な想像力（目標）と確実な企画力および実行力が必要となります。これらの資質はどのような社会でも要求されることであって、多くは経験から体得できるものと思います。話し合ってみませんか。



育児と仕事

— 一人二役を楽しむ方法

森 聡美



経済学部助教授。

筑波大学大学院で英語教育を学んだ後、カリフォルニア大学ロサンゼルス校大学院にて言語習得を専攻し、1997年応用言語学博士を取得。専門分野はバイリンガル幼児の言語発達、第二言語習得など。1998年より本学部にて英語を担当。

*森助教授は平成16年3月をもって本学を転出、立教大学へ。



朝、保育園に娘達を預けると仕事の顔になり、夕方保育園で子供の笑顔を見つけるとまた子育ての世界に戻る…そんな毎日を送っています。一人二役は「楽」ではありませんが、案外「楽しい」ものです。子供と過ごす時間は限られますが、だからこそ共有する時間には倍の喜びがあるのだと思います。また、子育てに多くの人に関わることは、子供の成長にとっても親にとっても有意義なことだと感じています。仕事の時間も制約されますが、時間は夫婦で協力すれば作り出せるものです。近い将来、皆さんが一人二役を演じることになったら、楽しみをたくさん見出して素敵な子育てをしてくださいね！